

**No English title available.**

3/3

Patent Number: JP2003182503

Publication date: 2003-07-03

Inventor(s):

Applicant(s):

Requested Patent: ☐ JP2003182503

Application Number: JP20010386707 20011219

Priority Number(s): JP20010386707 20011219

IPC Classification: B60R21/22; D03D1/02

EC Classification:

Equivalents:

---

**Abstract**

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

AAZ  
その他  
OTHERS

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

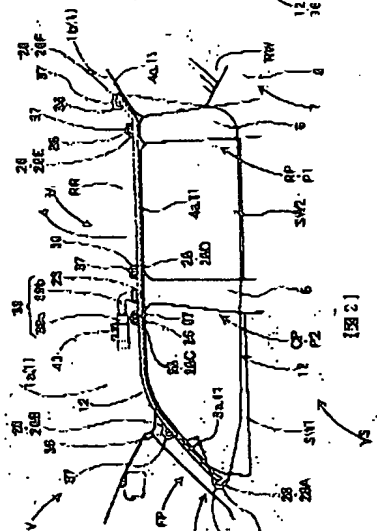
特開2003-182503

(P2003-182503A)

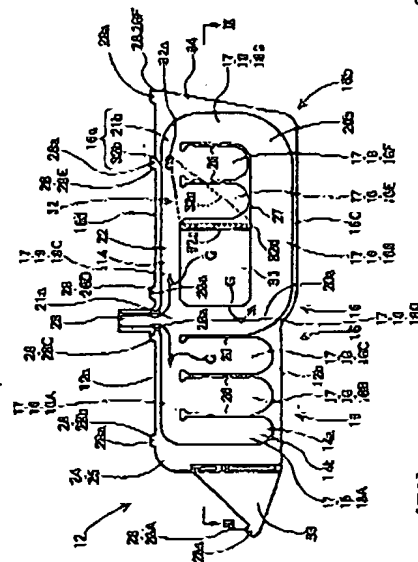
(43)公開日 平成15年7月3日(2003.7.3)

(51)IntCl <sup>1</sup>	発明の要約	PI	7-73-1(参考)
B 60 R 21/22		B 60 R 21/22	3 D 0 5 4
D 0 3 D 1/02		D 0 3 D 1/02	4 L 0 4 8
(21)出願番号	特開2001-386707(P2001-386707)	(71)出願人	000241493
(22)出願日	平成13年12月19日(2001.12.19)		豊田合成株式会社
(54)【発明の名称】	頭部保護エアバッグ装置		愛知県西春日井郡春日町大字落合字長谷1番地
(57)【要約】		(72)発明者	尾方 哲也
【課題】展開膨張完了時のエアバッグの車外側への移動を規制可能として、エアバッグの前縁方向の収縮スペースをコンパクトにすることができる頭部保護エアバッグ装置を提供すること。			愛知県西春日井郡春日町大字落合字長谷1番地
【解決手段】頭部保護エアバッグ装置Mは、車両のサイドウインド周縁の上縁側に折り畳まれて収容され、膨張後ガスの流入時、下方へ展開膨張するエアバッグ12を有する。エアバッグ12は、車両の前縁方向の一方の端部を、略上下方向に配設される先制ヒラ一部に取り付けられ、かつ、先制ヒラ一部から離れる端部側に、膨張用ガスを流入させて略平坦状に膨張してサイドウインドの車内側Iを覆い可能な板状膨張部15を備える。エアバッグ12は、展開膨張完了時に、板状膨張部15を、車内側Iに先制ヒラ一部から離れた端部側16aを、車内側Iに隣接させるように、配設される。		(74)代理人	100076473
		弁理士	銀田 昭夫 (外1名)
		Fターム(参考)	S0054 A02 A03 A04 A07 A18 B021 C04 C08 C11 C26 C027 C034 C042 4L045 A20 A24 B13 B04 CA12

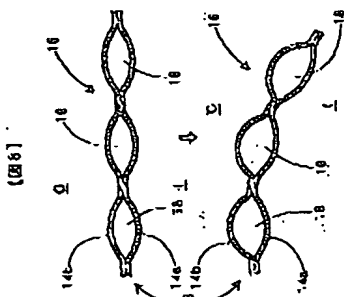
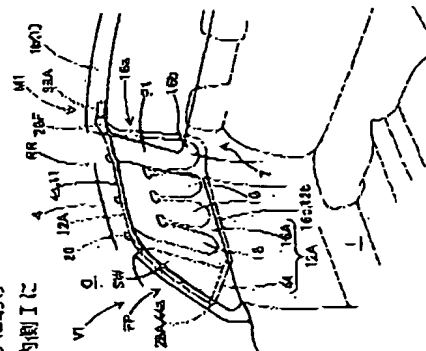
(図1)



(図2)

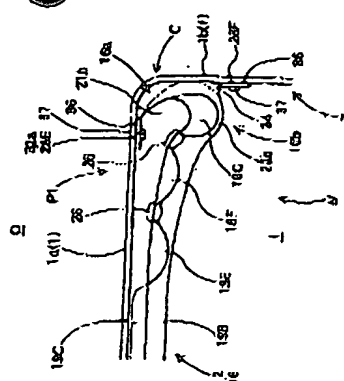


(図6)

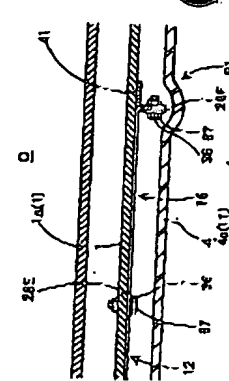


(図6)

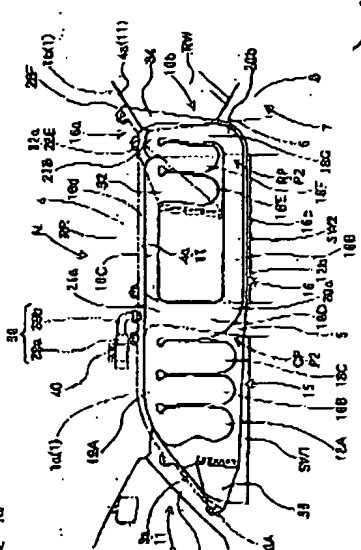
(図5)



(図7)



(図4)



(図3)

